

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

No	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	支出済額 （円）	交付金 充当額 （円）	実施状況	効果検証
1	経済変動対策貸付資金利子補給金補助事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している中小企業の事業者へ静岡県制度融資の利子相当額を補助することにより、資金繰りを支援する。 ②対象事業者に3年間利子相当額を補助 ③471,900千円×1.4%×3年間 ④静岡県制度融資経済変動対策貸付（新型コロナウイルス感染症対応枠）を利用した事業者	R2.4	R6.3	19,522,202	19,522,000	利子補給 34件 6,468,008円	事業の継続を支援するため、事業所の借入金利子を補給するための資金を基金として積立し、当年度分の34件6,468,008円を利子補給した。
2	新型コロナウイルス感染症対策緊急支援金補助事業	①河津町商工会が、新型コロナウイルス感染症の影響で、経営に大きな影響を受けている小規模事業者に対し、緊急の事業継続支援として支援金を支給する事業に対して助成を行う。 ②事業主体である河津町商工会への補助金 ③10万円×400事業者 ④町内の小規模事業者	R2.5	R2.7	26,072,540	26,072,000	緊急支援金 250件 25,000,000円	新型コロナウイルス感染症のまん延により事業継続が困難な事業者に対し、支援を行うことにより、事業者の事業継続に繋がった。
3	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休業要請協力金支給事業	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、休業要請に伴い協力金を給付する。 ②対象事業者に対する協力金 ③1期分 20万円×150事業所、2期分 10万円×150事業所	R2.4	R2.7	43,700,000	21,850,000	休業要請協力金 第1期 146件 29,200,000円 第2期 145件 14,500,000円	休業要請を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に協力した291件の事業者に対し協力金を支給し、感染拡大防止に寄与した。
4	プレミアム商品券	①河津町商工会がプレミアム商品券を販売する事業に対して助成を行うことにより、地域経済の回復を支援する。 ②事業主体である河津町商工会への補助金 ③55,000千円×20%=11,000千円、34,000千円×15%=5,100千円、ダブルプレミアム景品代1,000千円 商品券印刷代920千円、取扱店ステッカー125千円、チラシ作成・折込247千円、通知等通信料145千円、人件費261千円 ④町民に販売し、町内の登録店舗で使用	R2.7	R3.3	18,578,729	18,578,000	①プレミアム商品券 発行額 66,000,000円 ②プレミアム工事券 発行額 38,168,500円	これまでも河津町商工会が商品券の販売を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ消費を拡大するため、プレミアム率を高めた商品券を発行し、町内の消費を拡大した。
5	おもてなし工事券補助事業	①新型コロナウイルス感染症対策を含めた、観光客や消費者に提供する空間におけるおもてなし向上に繋がる工事に対して補助を行う。 ②事業主体である河津町商工会への補助金 ③20万円×25件（1/2補助 上限50万円） ④小規模事業者であり、町内に店舗を有する商工会員	R2.6	R3.3	3,074,001	3,000,000	おもてなし工事補助金 14件 3,074,001円	新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、対策を行う町内の事業者に対し、支援を行うことにより、感染防止に寄与した。
6	観光誘客対象事業	①町内宿泊施設利用客へ特産品を送付する事業に対する補助を行うことにより、特産品の消費拡大と誘客に結び付ける。 ②事業主体である河津町観光協会への補助金 ③特産品費用（送料込）4,000円×4,650ヶ、送料1,000円×4,650ヶ臨時職員人件費200千円×7ヶ月 ④河津町観光協会	R2.9	R3.3	12,480,467	12,480,000	特産品送付 2,801個 11,204,000円	新型コロナウイルス感染症のまん延により地域経済が停滞する中、特産品と誘客を結びつけることにより、事業者の事業継続に繋がった。
7	河津桜まつり新型コロナウイルス感染防止対策事業	①河津桜まつり（R3.2月10日～3月10日）による感染拡大を防止するため、対策に係る費用に対して補助することにより、安全なイベントとして誘客を図る。中止となった場合も、来訪者に対する対策を行う。 ②事業主体である河津桜まつり実行委員会への補助金 ③感染防止対策人件費7,520千円、本部運営委託費4,000千円、消毒液マスク等消耗品1,124千円、バリケード等安全対策2,500千円、検温機等借上料2,500千円、検温結果シール印刷2,356千円 ④河津桜まつり実行委員	R2.10	R3.3	16,000,000	16,000,000	河津桜まつりは中止となったが、観桜期の来訪者に対して対策を行った。 2月10日～3月10日の来訪者121,919人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、河津桜まつり実行委員会が行う対策に対し、支援を行うことにより、対策の強化に繋がった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

No	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	支出済額 （円）	交付金 充当額 （円）	実施状況	効果検証
8	観光施設新型コロナウイルス感染防止対策事業	①観光施設の衛生環境を保つための備蓄品等の支援 ②衛生物品等に係る経費 ③消毒液・マスク等消耗品500千円 ④町有観光施設等	R2.4	R3.3	910,630	910,000	消毒薬 3200他	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、観光施設が行う対策に対し、支援を行うことにより、対策の強化に繋がった。
9	駅メモスタンプラリー事業	①位置情報連動ゲームとコラボした鉄道駅と観光施設をめぐるデジタルスタンプラリー事業を行うことにより、誘客及び滞留時間の増加を図る。 ②伊豆急行の事業に対する負担金 ③1,000千円 ④伊豆急行	R2.9	R3.3	1,000,000	1,000,000	伊豆急行の行う事業に対する負担金 1,000,000円	新型コロナウイルス感染症のまん延により地域経済が停滞する中、誘客を行い、事業者の事業継続に繋がった。
10	美しい伊豆創造センター集客対策事業	①美しい伊豆創造センターが誘客対策事業を行うことにより、伊豆半島への誘客を図る。 ②事業主体である美しい伊豆創造センターへの負担金 ③1,800千円 ④美しい伊豆創造センター	R2.9	R3.3	1,800,000	1,800,000	美しい伊豆創造センターの行う事業に対する負担金 1,800,000円	新型コロナウイルス感染症のまん延により地域経済が停滞する中、誘客を行い、事業者の事業継続に繋がった。
11	防災活動支援事業	①自然災害等に備えるため、各自主防災組織活動の支援。町が指定する避難所の衛生環境を保つための備蓄品等の支援 ②衛生物品等に係る経費 ③体温計・フェイスシールド等消耗品2,896千円 ④各自主防災会等	R2.4	R3.3	2,897,180	2,897,000	避難所の衛生環境を保つための備蓄品等の支援を実施した。	各避難所への配布・配置することでコロナウイルス感染予防対策に寄与した。
12	新しい生活様式に対応した庁舎内電算環境・会議室放送設備等整備事業	①Web会議用PC及び可動式放送機器の導入 リモート会議のできる環境及び、会議室の施設放送機器と接続できる可動式放送機器を整備し新しい生活様式に則した3密回避の実践 ② ③・PC125千円×14台（各課+3役）=1,750千円 ・無線放送システム一式 12,848千円 ④河津町役場・河津町議会	R2.10	R3.3	14,256,000	14,256,000	Webカメラ、マイク機能付ノートパソコン14台 議場での感染症対策として密を回避するため無線方式の放送機器、および別の会議室でテレビ会議ができる機器を購入。	議場内でのソーシャルディスタンスの確保、議会傍聴を別室で行うことができ、感染症対策が可能となった。
13	地域の感染状況等踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	①感染拡大時のPCR検査所用及び救護所のトリアージ用に購入 ②テント 一式、その他衛生物品（フェイスシールド等）一式 ③テント 1,958千円 診察台、フェイスシールド、マスク 351千円 ④河津町健康福祉センター	R2.10	R3.3	2,164,426	2,164,000	感染拡大時のPCR検査所及び救護所のトリアージ用エア Tent 購入費 1,938,244円 消耗品226,182円購入	医療施設が少ない当町として、新型コロナ感染拡大時の備えと安心材料になった。
14	新型コロナウイルス感染症拡大対策敬老会事業代替事業	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、敬老会を中止し、対象者に商品券を贈呈する。 ②商品券、郵送料 ③商品券3,000円×3,047人、郵送料336円×2,088世帯、商品券封筒20円×2,088世帯×1.1 ④65歳以上の町民	R2.9	R2.10	9,637,998	9,637,000	感染拡大防止を図るため、敬老会を中止し、65歳以上の町民に商品券を贈呈した。商品券購入3,000円×3,024人、郵送料520,128円、消耗品45,870円	敬老会を中止し、3密環境を回避したため、感染予防対策に繋がった。
15	公的法人等持続給付金事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、医療機関及び社会福祉法人等へ事業継続のための支援金を給付する。 ②対象事業所への給付金 ③100万円×2事業所、50万円×13事業所 ④医療機関、社会福祉法人等	R2.10	R3.3	8,500,000	8,500,000	1,000,000円×2病院、500,000円×8診療所 500,000円×5施設	給付金の支給により、感染症対策等で負担が増える医療機関等への支援及び医療体制の維持に繋がった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

No	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	支出済額 （円）	交付金 充当額 （円）	実施状況	効果検証
16	放課後児童クラブ空調設備事業	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、教室に空調設備を設置する。 ②エアコン購入、設置。 ③エアコン（設置費含む）492千円×1.1 ④放課後児童クラブ	R2.9	R2.10	467,500	467,000	コロナ感染症対策として、例年以上に換気を行う必要があったため、児童の健康を考慮し、適正な室温を確保するためにエアコンを増設した。	感染症対策を講じながらも適正な室温を維持することができた。
17	新型コロナウイルス感染症検査待機場所確保事業	①観光客で感染疑似者のPCR検査等結果が出るまでの期間待機場所として民間施設を借用確保する。 ②賃借料 一式、消毒手数料 一式、その他経費 一式 ③賃借料8万円×9ヶ月、消毒22万円×5回、その他10万円（生活用品（マスク、消毒液、体温計等）） ④施設賃借	R2.7	R3.3	720,000	720,000	観光客感染疑似者のPCR検査等結果待ち待機所確保 賃借料80,000円×9ヶ月＝720,000円	感染拡大時の観光客への体制を整え、誘客対策に寄与した。
18	人間ドック受診推進事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止の為、町の特定検診及び各種ガン検診が出来ない実情で、人間ドック受診者に助成を行う。 ※会場が乳幼児健診等と同じなので、入室制限等実施中 ②人間ドック受診者への助成 ③1万円×300人 ④30歳以上の町民	R2.10	R3.3	1,652,176	1,652,000	182人が受診 1,652,176円助成	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少した町の特定健康検査及び各種ガン検診を補うため人間ドックへ助成し、新型コロナウイルスの検診への影響が減少した。
19	一部事務組合下田メディカルセンター新型コロナウイルス感染症拡大防止対策機器購入負担金事業	①感染症病床所有の共立病院に対し、一般受付への疑似感染者の進入防止と感染症検査体制を強化する。（6市町） ②自動体温感知システム 一式、抗原検査測定システム 一式 ③自動体温感知システム 2,250千円、抗原検査測定システム 7,000千円（6市町均等割） ④一部事務組合下田メディカルセンター	R2.7	R3.3	1,542,000	1,542,000	下田メディカルセンター検温測定機器購入事業、化学発光酵素免疫測定システム関連設備整備事業に対する負担金1,542,000円	公立病院に対し検温システム・検査システムを導入し、新型コロナの感染拡大防止に繋がった。
20	オンライン教育導入支援事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、オンライン環境のない家庭へ、リモート授業等へ対応できる環境作りを行う。設置上限10千円の補助事業を行う。 ②子ども子育て世帯への補助事業 ③238世帯×10千円 ④町内子ども子育て世帯	R2.12	R3.3	30,000	30,000	河津町オンライン学習通信費補助金 3件×10,000円	オンライン環境未整備の世帯3件へ補助金を交付し、リモート学習へ対応できる環境を整備した。
21	GIGAスクール構想1人1台タブレット端末導入事業	①1人1台タブレット型PC端末の導入を行い、リモートでの学習対応等、教育現場への設備増強 ②町内小中学校児童・生徒用PC端末の1人1台整備に係る経費 ③システム構築費403台×46,000円 + 設定費537,600円 PC購入費 403台×45,000円 の一部(6,401千円) ④町内小中学校及び児童・生徒	R2.9	R3.3	39,490,000	24,954,000	生徒児童用PC購入費403台（うち6,124,697円充当） 各校情報通信ネットワーク環境整備構築委託料 18,829,303円	児童生徒1人1台タブレット端末を配布することにより感染症対応のため臨時休校となった場合でも、切れ目ない学習環境を構築できるようになった。現在定期的にタブレット端末の家庭持ち帰りを実施し、感染拡大時のリモート学習に対応できる環境を整備した。
22	小中学校空調設備設置事業	①小中学校体育館及び空き教室等（避難所）の新型コロナ対策による換気設備等の設置 ②町内各小中学校設備備品 ③中学校1校・小学校3校／換気設備（網戸）33,773千円、空調設備47,685千円 ④公共施設（町立小中学校）	R2.9	R3.3	81,015,000	80,221,000	河津南小学校空調設備設置工事 22,836千円 河津中学校空調設備設置工事 20,988千円 小中学校空調設備工事設計業務委託料 2,585千円 小中学校空調設備設置監理委託料 1,100千円	小中学校特別教室の空調新設により、換気機能が向上し、従来の教室だけでなく、特別教室でも児童生徒が安心して学習できる環境が整った。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

No	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	支出済額 （円）	交付金 充当額 （円）	実施状況	効果検証
23	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 ①新型コロナウイルス対策で小中学校休校対策事業補助金として、各校消耗品等の購入補助を実施 ②町内各小中学校設備備品・消耗品 ③中学校1校・小学校3校ノ扇風機・アルコール消毒液等 ④公共施設(町立小中学校)	R2.9	R2.12	4,071,537	2,071,537	学校保健特別対策事業費補助金 4,071,537円のうち2,071,537円を充当	町内各小中学校へアルコール消毒液や送風機等を配付し、学校における新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、安心して学習できる環境が整った。
24	学校臨時休業対策費補助金	①新型コロナウイルス感染症による小中学校臨時休校に伴う給食食材の破棄に対する補助 ②町内町立小中学校給食費・学校給食センター給食会計 ③4月破棄分125千円・牛乳等破棄分11千円 ④河津町学校給食センター	R2.4	R2.4	508,901	135,000	新型コロナウイルス感染症対策学校臨時休業対策費補助金508,901円のうち135,000円を充当	小中学校臨時休校に伴う給食食材の破棄に対する補助を受けることにより、給食会計の円滑な運営を実施することができた。
25	コミュニティ施設換気システム設置等導入事業	①3密防止によりコミュニティ施設の分散化を図り、分散場所の換気及び空調設備の増設を行い、町民のソーシャルディスタンスを守った活動を支援する。 ②公共施設への換気空調設備費用を交付対象経費とする。 ③換気設備3ヶ215千円 空調設備4ヶ2,380千円 諸経費 375千円 調整費30千円 消費税 300千円 ④河津町公共施設(コミュニティ施設)	R2.10	R3.3	2,701,380	2,701,000	換気設備（有圧換気扇）3台 空調機4台 2,701,380円	コミュニティ施設の代替えにより、利用分散を図ると共に、換気空調設備の設置により感染予防に効果があった。
26	町営施設キャッシュレス化導入事業	①町内町営施設のキャッシュレス化を推進し対面非接触の決済を行うことと、キャッシュレス顧客の獲得を図り経済対策の一助としたい。 ②キャッシュレス端末及び回線工事に係る経費を交付対象経費とする。 ③端末単価10万円×5台×1.1 インターネット回線工事等費用 100万円 ④河津町公共施設(河津バガテル公園・踊子温泉会館)	R2.12	R3.3	1,423,290	1,421,000	キャッシュレス端末 5台 493,350円 ネット回線等環境構築工事一式 929,940円	現金決済のみであった町営施設で、対面非接触でのやり取りができたことにより、感染予防に効果があった。また、キャッシュレス対応によりお客様が安心して利用できることから経済効果の一助となった。
27	河津町新型コロナウイルス感染症対策交通事業者支援金交付事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大により運行に際し影響のある公共交通である町内運行のバス路線(自主運行除す)及び鉄道へ一路線1,000千円を補助する。公共交通の使命を果たしている部分への補助事業 ②公共交通事業者へ補助金を交付対象経費とする。 ③一路線1,000千円×2業者(2路線) ④公共施設事業者(東海バス・伊豆急行)	R2.10	R3.3	2,000,000	2,000,000	1路線1,000千円×2業者 2,000,000円	町内で運行している公共交通機関に対し、車両維持等に係る費用等を支援することで、高齢者等、町民生活の移動手段や社会基盤としての地域交通を確保維持することができた。
28	インフルエンザ予防接種未成年対象補助事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止及び重症化予防としてインフルエンザ予防接種の推進を行うため、町内高校生以下を対象に接種者への補助を行う。※13歳未満は2回接種 ②高校生以下インフルエンザ予防接種者への助成 ③13歳未満 2,000円×500人×2回=2,000,000円 13歳以上 2,000円×350人×1回=700,000円 ④町民高校生以下 約850名対象	R2.11	R3.3	1,206,800	1,204,000	高校生以下の子供494人に対して 1,206,800円の助成	インフルエンザワクチンの接種が強く推奨される高校生以下の子供に対し助成を行った。インフルエンザの流行を抑える事ができた。
29	子ども子育て支援交付金	(子ども子育て支援交付金) ①新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、放課後児童クラブの利用料や人材確保に係る媒性支援。 ②午前中から開所するための経費や利用料免除に係る経費 ③午前中から開所するための経費442千円・利用料減免にかかる経費。(F欄147千円は県補助) ④河津町放課後児童クラブ	R2.4	R3.3	484,027	162,000	小学校臨時休校に伴い午前中から開所するための経費 325,827円 利用料減免にかかる経費158,200円	小学校臨時休校に伴い、放課後児童クラブを午前中から開所した。仕事をしている保護者に安心感を与えることができた。